

第3回演奏会

秋晴れに恵まれたその日は、いつもにも増して『緊張・ワクワク感そして少しの不安が』

君津シニアアンサンブル「アゼリア」は去る令和6年11月24日に、君津市生涯学習センター多目的ホールにおきまして、第3回演奏会を開催しました。

演奏会当日は、午前中に会場準備（観客の座席はやや弱気で150席を準備）とリハーサル。上総SEさんから司会と受付の応援をいただき、フルメンバーの18人は正装で身を包んで13時30分拍手の中、緞帳が静かに上がりよいよ開演です。ありがたいことに100人超のお客様に開演お越しいただきました。第1部は「外国の曲（その1）6曲」、第2部は「日本の曲5曲（うち2曲は合唱）」そして第3部は「外国の曲（その2）6曲」の構成で演奏しました。時間の経過とともに会場の盛り上がりが伝わってき、演奏にも熱がこもりアンコールの「宇宙戦艦ヤマト」までアツという間でした。ご来場のお客様から直に「S Eから元気を出してください。楽しもう」と満足した。次回も楽しみ!」等々沢山の高評価をいただき、団員一同が充実感と達成感を十二分に味わえた一日でした。（文責北元博文）



市原SE
渡辺和代

ここ数年、我が団の恒例になつてゐる「クリスマスコンサート」が2024年12月19日「夢ホール」にて開催されました。大きなクリスマスツリーが飾られたホール内に教会の鐘の音が響き渡ります。オーピニング曲はこの印象的な鐘の音から始まる「アメージンググレース」です。満席の会場全体が一気にクリスマスの雰囲気に包まれた様に感じられました。

前半は「結婚行進曲」まで、7曲を演奏。後半では頭にクリスマス帽やカチューシャをつけますますクリスマスマスムードに。「荒野のはてに」、「クリスマス・イブ」、「クリスマスソングメドレー」、お客様も歌で参加の「ジングルベル」など、この日にふさわしい選曲で6曲。そして一段と大きな拍手をいたいたいた団員Tさんは、「サントワマミー」のすてきな歌もあり、

アンコールに「聖者の行進」、最後は会場の皆様と一緒に「きよしこの夜」を、クリスマスの余韻を残して終了となりました。

なじみの曲を揃えたプログラム、団員の熱意ある演奏をお届けできました。私たちにとって最もうれしかったことは、3回目にして初めて会場を満席にすることができたことです。500名を超える聴衆を前にして演奏する以上、できる限り多くの方々に聴いていただきたいのです。500名を超える聴衆を前に感無量のステージでした。



代表 岩瀬 進介

△市原シニアアンサンブル「こすもす」

ジョイントコンサート△

2025年1月11日、お屠蘇気分もそろそろ抜けてきたころ、私たち流山シニアアンサンブル・ヴエルデは年1回恒例の「ジョイントコンサート」を開催しました。今回で3回目になります。「三匹の猫の手」つて何?と思われる方いらつしやるでしょう。私たちをご指導してくれます。この活動に賛同しジョイントコンサートをださっている横林先生ご自身のライフワークで、「プロフェッショナルもアマチュアも、年齢や演目ジャンルなどに拘らず、知り合った多くの方に演奏機会である『舞台』を提供する」目的としての演奏会活動です。私たち

は、この活動に賛同しジョイントコンサートを開催してきました。

3回目の今回は、大きな目玉を用意してしました。それも2つ。1つ目は「幼稚園年長6歳のヴァイオリニストのヴァイオリン独奏」2つ目のヴァイオリニストのヴァイオリン独奏」2つ目は「当団のフルーティスト御歳96歳の編曲による花嫁人形変奏曲の演奏」です。年齢差実に90歳。世代を超えてどころではあります。もう少しで「1世紀差」です。どちらも素晴らしい演奏となり大喝采を受けました。

私たちにとつて最もうれしかったことは、3回目にして初めて会場を満席にすることができたことです。500名を超える聴衆を前に感無量のステージでした。

